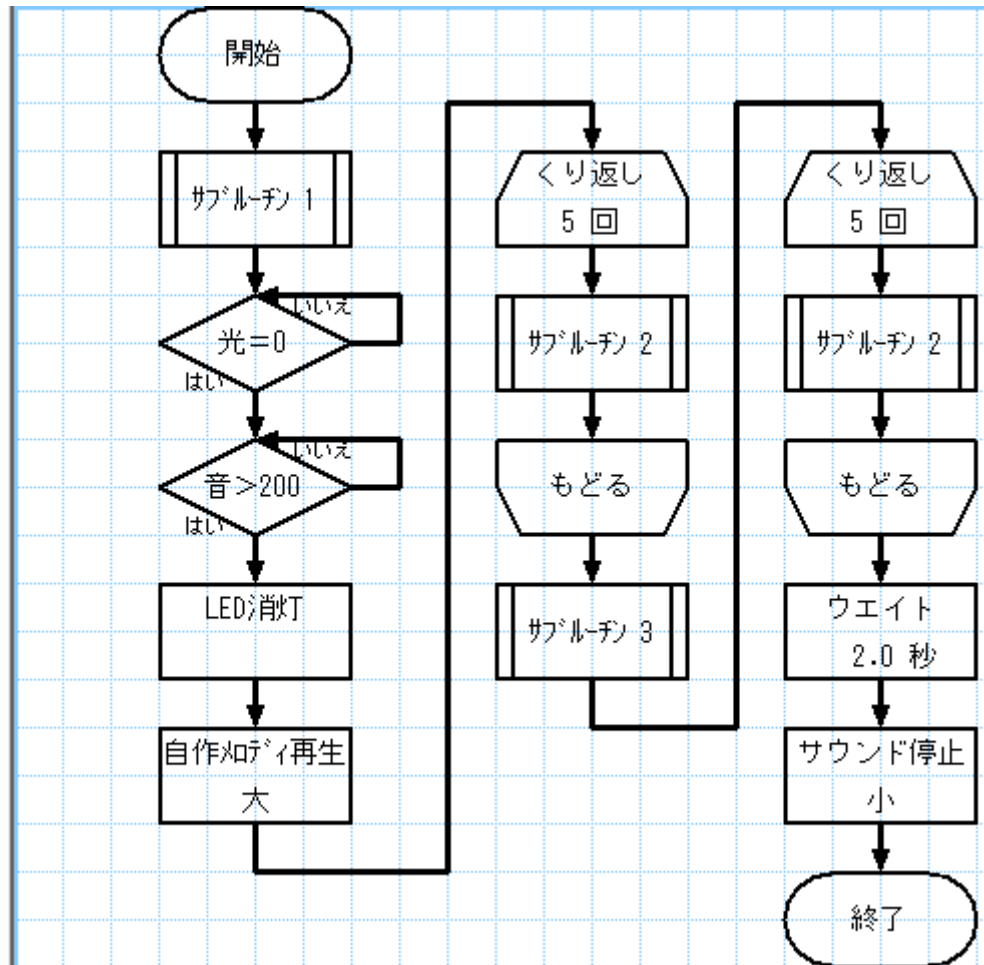


電光掲示板のモデル

| | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 | 8 | 15 | 22 | 29 |
| 2 | 9 | 16 | 23 | 30 |
| 3 | 10 | 17 | 24 | 31 |
| 4 | 11 | 18 | 25 | 32 |
| 5 | 12 | 19 | 26 | 33 |
| 6 | 13 | 20 | 27 | 34 |
| 7 | 14 | 21 | 28 | 35 |

7列×5行(35台)でブロックの上記のように番号を割り振り配置してます。
35個のプログラムはフォルダーにサンプルとして入ってます。
ファイルも番号通りになってあります。共通の部分はまとめてあります。

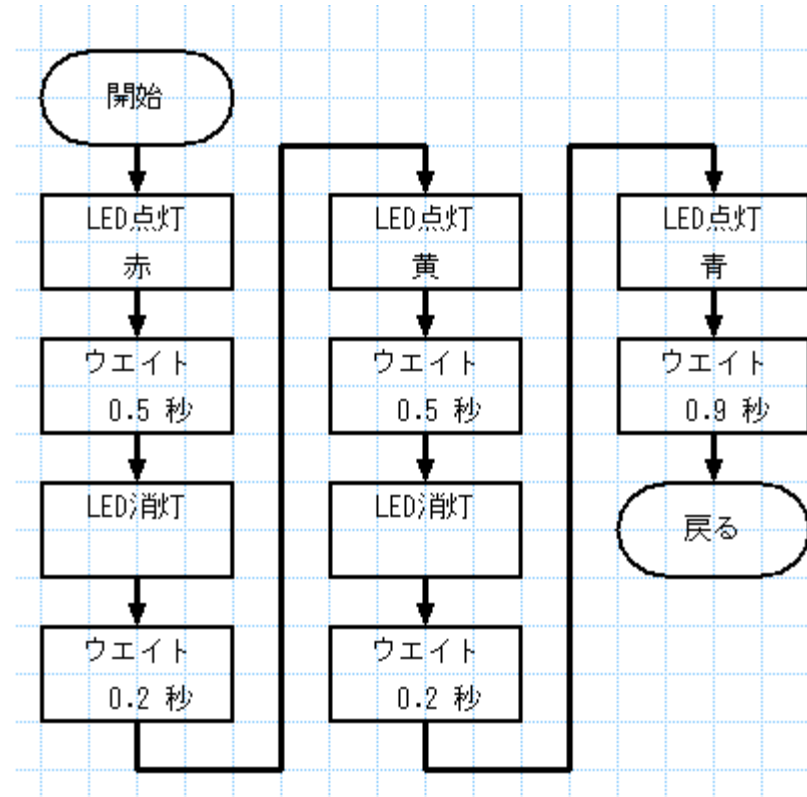
プログラムの解説 メインルーチン



メインルーチンでこのような流れで35台全て同じようにプログラミングしてあります。サブルーチン1・2・3について次のページをご覧ください。

プログラムの解説

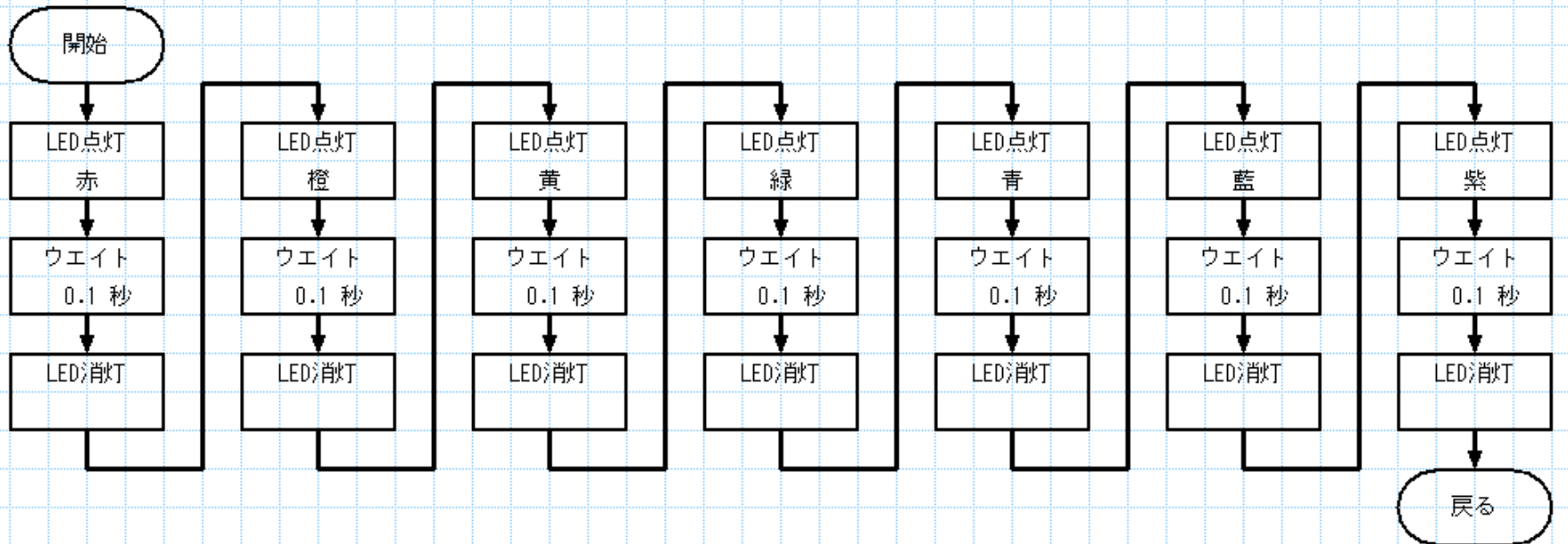
サブルーチン1



サブルーチン1は赤→黄→青の順番で光ります。
こちらはメインの光と音に反応するまでの待機状態を表すために使用してます。
メイン同様35個共通部分です。

プログラムの解説

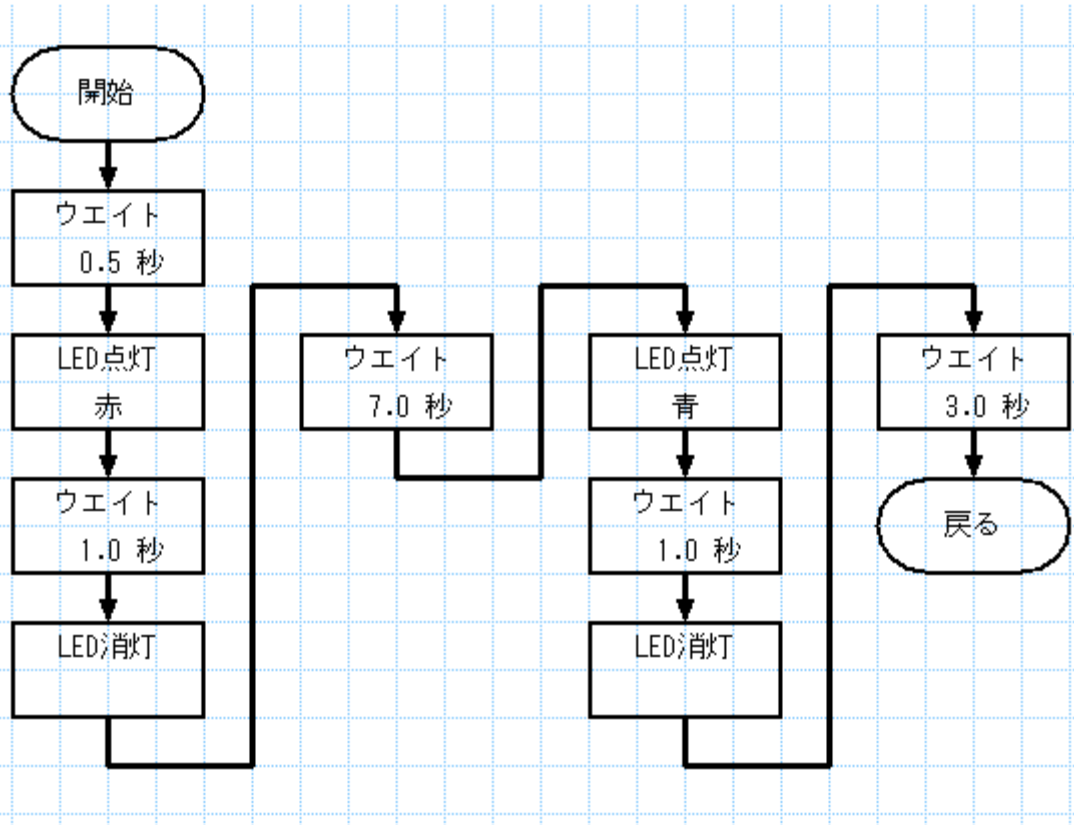
サブルーチン2



サブルーチン2は文字表示が始まるまでに各色を光らせているものです。
ここも35個共通部分です。

プログラムの解説

サブルーチン3



サブルーチン3文字の表示になります。

表示する文字を全て並べ自分のパートを確認し、点灯する部分だけをプログラム
ここだけ35台バラバラになります。(同じパートになる部分もあります。)